

(仮) 小学校給食における提供のあり方検討委員会について

(1) 目的

学校給食は教育活動の中において、「食」を通して、健康、食文化、命、生産流通に至るまで「食育」として学び、豊かな心と健やかな体を育む、大変重要な学習機会の一つである。

宇治市においては、小学校は、昭和26年の市制施行以来、笠取小学校・笠取第二小学校の2校を除き、自校方式での給食提供を行っており、中学校は、令和8年度にセンター方式による給食提供を行う予定で準備を進めている。

この給食センター整備にあたって、宇治市における児童生徒数推計の減少傾向、保温技術等の現状を踏まえ、給食センターの活用の視点から今後の小学校給食における提供のあり方を検討する。

(2) 期間・会議回数

- ・令和4年6月下旬～7月下旬
- ・期間内に3回程度を予定

(3) 委員について

- 《学識経験者》 坂本 裕子(京都華頂大学教授)
福田 小百合(京都文教短期大学准教授)
- 《学 校 長》 西 裕子(西大久保小学校長)
石原 和彦(笠取第二小学校長)
- 《栄 養 教 諭》 西本 真里(槇島小学校)